

# 再罷業決行に際し 全労働者大衆に訴ふ！

全国の労働者、農民並に一般勤労大衆諸君！

我々は過ぐる十二日間のストライキ及びその後の十五日間に亘る調停委員会に對する必死の努力も、暴慢比類なき市當局を屈服せしめ得ず茲に再びストライキを以て決死の抗争を續けることとなつた。

當初山下局長によつて發表された整理案が古今東西に未曾有の大暴壓案であることは既に萬人の等しく認むるところである。この暴案にして一度強行されんか、我々一萬一千従業員と五萬の家族が餓死の瀬戸際に立たされるのみならず全国の労働者、農民、一般勤労大衆に及ぼす影響極めて甚大なるを以て我々は斷乎としてこれが粉碎を期して闘争したのである。我々の闘争全國からの澎湃として高まる應援闘争、更に加ふるに社會の輿論の指弾に會つて、當初の暴案は遂に撤回の運命に陥つたのであるが、飽迄我々の搾取を強行して赤字を補填せんとする市當局は、吉田、渡邊の中立委員を動かし、當初の暴案に代ふるに、人件費總額の二割天引案なるものを中立案の名にかくれて我々に強要せんとしたのである。

この案も亦労働者の賃下げを行ふことのみは大膽積極的にして他に市電更生の必要なる問題は一切解決せぬ一時凌ぎ案であり、欺瞞案である點に於ては當初の整理案と何等選ぶところなき暴案である。

かかる暴案を我々が斷じて承認し得ないことは言ふまでもない。かくて調停委員会は遂に決裂し、我々は敢然再罷業を以て抗争を開始したのである。

全国の労働者農民並に一般勤労大衆諸君！

我々は諸君の熱誠なる支持應援に對して全的勝利を以て答へんとして今尚これを確保するに到らざるは甚だ遺憾であるが今度こそは敢然組合の全生命を賭して最後まで戦ひ抜き諸君への謝禮に代へんとするものだ！

東京市電に於ける財政の破綻は崩壊の危機に立つ日本資本主義の縮圖である。

市電當局者の企圖せる労働者彈壓は又全日本の資本家階級が等しく採らんとしつゝある彈壓方策なのだ！

我々は我々の勝敗が直に全國の兄弟の運命を動かすものであることを知り重大なる階級的責任を感じてゐると同時に又これは我が組合が持つ階級的名譽であると自負してゐる。

市當局は以前にも増して頑強なる態度に出で、種々な威嚇、懐柔をなし、又反動ファツシヨ日交の大共を使喚して内部の切崩しを策し、或ひは又新聞を通じて種々のデマを飛ばすであらふ。

しかし我々はこれ等一切の障害を粉碎して斷乎として戦ひ抜き決意と用意を充分に有してゐる。

全国の労働者農民並に勤労大衆諸君！

我々は今度の戦ひに於いて石に嚙りついても斷じて勝利する覺悟と希望と確信に燃てゐる。だが我々の闘争は同時に全労働大衆の闘争である以上我々の孤立的闘争のみによつて勝利することは困難である。

全國の兄弟諸君の應援の力と、我々の斷乎として屈せざる闘争力とがヒツタリと結合集中した時こそ何物をも打ち砕く偉大なる闘争力となるのだ！

東京市電一萬一千大衆の勝利のため、全労働者、農民の勝利的前進のため嵐の如き應援闘争を捲き起せ！

十月八日

東京交通労働組合

東京市京橋區築地三ノ八